

安藤製作所

祖父が創業して、わたしで3代目。銅やアルミなどやわらかくて粘りのある材料から、ステンレスやタングステン、モリブデンなどの硬い金属の加工も独自の刃を工夫して行っています。小さいものでは、爪の先ぐらいのピンやネジ、電気ポットぐらいの大きなものまで対応でき、切削加工が得意です。

1年ぐらい前から、加工技術の向上のために、「コマ大戦」にも挑戦。これはものづくり技術を持つ企業がコマを作り対戦させる、喧嘩コマの大会。安定した回転やバランス、あたり強さなどを考え、コマの形をデザインし銅を削って加工します。また、銅をコイルにして単5電池と磁石を使ってリニアモーターで動くオモチャなども企画。部品を加工する下請けにとどまらず、金属の特性を知り尽くしたからこそできる製品、加工技術を生かした商品を作っていきたいと思えます。

銅をはじめアルミ、ステンレス、タングステンなど、部品の加工の要望にお応えします

代表 安藤 浩充さん

機械に加え、職人の手による加工を施すことで、難易度の高い銅の加工にも優れた技術を発揮している。

銅には消臭や浄化などの効果があり、それを広く発信していきたい。

コマは回転の要所を削るため、銅加工の要所を削るため、専用サイトを制作しました。





銅をはじめ金属や樹脂の精密加工を得意とする

生野には、家の1階や敷地を工場にしているところが多いが、安藤製作所も住居の奥に工場を構えている。同社は、銅やステンレス、真鍮などの金属や樹脂を、大小問わず希望の形に加工。こんな加工が機械で出来るのかと思うかもしれないが、最終工程は職人の手で仕上げたり、加工する刃物を独自で作ることで、精密部品などに求められる複雑な形にも応える。

中でも、電力会社で使用される銅製品の加工に強味を発揮する。電気を通すトランス(変圧器)には伝導性のいい銅が使われる。しかし、銅を使う場所は限定されるので、銅加工用の刃物が市販には少ない。さらに、銅にも種類があり、種類ごとにそれぞれに応じた加工法が必要になる。同社は 99.95% といった純銅にも対応し、加工技術の高さにも定評。そこで、高性能な加工が求められる自動車業界からの依頼や、スピーカーの音にこだわる個人の方から純銅でスピーカー端子を作ってほしいといった依頼まで、仕事の幅は広がっている。

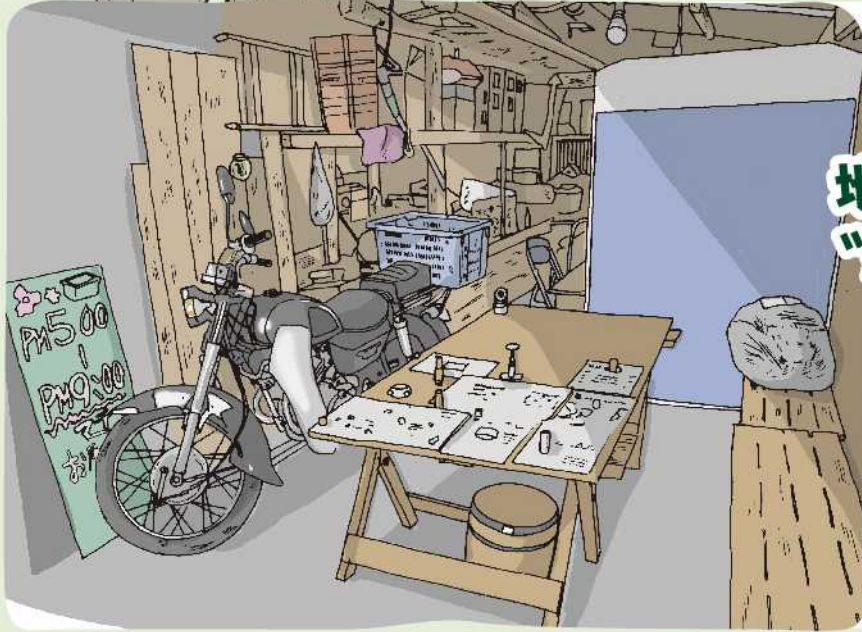
さらに、加工で発生する銅の粉や破片の再活用にも積極的に取り組む。銅イオンは抗菌や除菌効果があり、蚊の発生につながるボウフラの卵を羽化させないといった活用を研究。銅を知り尽くし、銅を使いこなすプロとしての姿勢が感じられる。

我が社の自慢

業種にとらわらずに生野という地域と繋がっていくと新しいものが見えろと思うんです。

地域とのつながりを深める“縁側”を開催

「生野区縁側プロジェクトin 翼中」として、行政、町の企業家、地域の人との集まりを企画。車庫だった場所を活用し、道に面した入口をオープン。誰でも気軽に入れるようにし、ものづくり企業が作った製品を展示触ることができたり、よりより町づくりのために情報発信やイベントなどを企画している。



安藤製作所

<http://studio-andou.d.dooo.jp>
<http://hp.proteg.jp/studio-andou/>
<http://ando-factory.com/>
 〒544-0013 大阪市生野区翼中4-4-5
 TEL 06-6758-0974 FAX 050-3747-8060

事業内容 / 銅・ステンレス・アルミ・真鍮・砲金など各種産業部品の切削・旋盤加工